

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島 和弘	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	県民参加による森づくり事業		
目的	(1) 対象	県民参加による森づくり事業	
	(2) 意図	森づくりの活動等に積極的に参加してもらい、森林・林業への理解を深めてもらう。	
事業概要	①県民自らが活動を企画提案し参加することができるように、水と緑の森づくり税を財源として、森林整備や県産木材の利用、森林環境学習などの取組に対し交付金を交付する。(みーもの森づくり事業) ②しまね森林活動サポートセンターが県からの委託を受けて、森林に関する支援を必要とする方に対し、専門家(森づくりサポーター)を派遣する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県民協働の森づくり活動年間参加者数	目標値		16,200.0	16,700.0	17,400.0	17,900.0	人
		取組目標値						
	式・定義 みーもの森づくり事業及びしまね森林活動サポートセンターの支援による森づくり活動への参加者	実績値	15,763.0	10,468.0				%
		達成率	-	64.7	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	56,349	58,596
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成28年度は、みーもの森づくり事業及びしまね森林活動サポートセンターの支援による森づくり活動への参加者は10,468人であった。(H25 15,068人、H26 16,332人、H27 15,763人、H28 10,468人)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

みーもの森づくり事業において、活動団体数は毎年40団体程度であり、過去に同事業を実施したことのある団体だけでなく、新たに取り組み団体もことから、「森林の整備・保全は社会全体で支える」という県民意識の醸成や森林に対する県民理解の促進に繋がっている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 活動団体数は例年並みだが、参加者数が伸び悩んでいる。森林への興味や関心を持っている人はいるものの、森づくり活動への参加につながっておらず、次世代に引き継ぐべき森林の整備が進んでいない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 活動内容の中で、竹林伐採など技術を要する作業を専門業者への委託することが多く、参加者が直接作業する部分が一部となっている。
 - 活動開始時期が6月初め頃からなるため、春先の作業のしやすい時期を逸する。
- ③原因を解消するための「課題」
- 活動団体によって活動内容は様々だが、より参加しやすく活動しやすいよう、活動開始時期を早めるなど改善していくとともに、県民、活動団体へのPRが必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

みーもの森づくり事業への要望は多く、県民参加を促進するためには取り組みやすい事業である一方、活動の大部分を委託に頼り、県民参加による活動がごく一部である団体も見受けられる。早くから活動が開始でき、多くの県民が気軽に参加できるよう制度を改正するとともに各活動団体へ周知していく。活動団体においては広報紙などを使い活動内容をPRするなどして、参加者の増加を図ってもらう。また、森林インストラクターの養成・派遣により、森づくり団体への技術的支援を行う。